

～将来にわたり熊本市電を持続安定的に運行するため～ 上下分離方式の導入を予定しています！



熊本市電を運行する交通局では、現在、上下分離方式の導入を予定しています。
今回は、「上下分離方式を導入する理由」や、「導入後の市電はどのようなのか」といった疑問にお答えします！

上下分離とは…

上下分離とは、運送事業者(上)と施設・車両の保有整備事業者(下)を切り分け、それぞれが運行、整備の免許(特許)を取得して事業を営む仕組みです。

現在は熊本市がこれらの事業を一体で行っていますが、上下分離後は、施設・車両の保有整備は熊本市が担い、運送は新たに設立する市出資法人が担う予定です。

路面電車における上下分離方式は、富山市、札幌市ですでに導入されています。また、今年8月には宇都宮市・芳賀町で、上下分離方式による路面電車が新たに開業予定です。



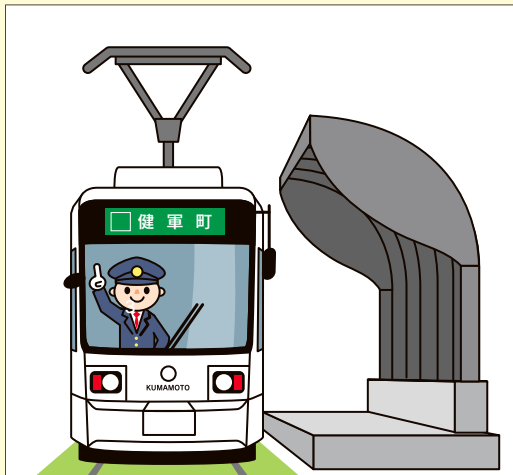
上下分離で変わること・変わらないこと

上下分離後は、運送事業を担う市出資法人が、市電の運行や広告事業、イベント業務を担う予定です。安全運行を第一に、新たな乗客サービスを実施していきます。

一方で、**上下分離を導入したことにより、運賃や運行ダイヤが変わることはありません。**今までどおり市電をご利用いただけます。

熊本市は、引き続き施設・車両の整備・更新を行い、法人と連携しつつ、安心・安全な市電運行を担っていきます。

【現行】



【熊本市】

- 運転・運行管理
- 施設・車両の維持管理
- 施設・車両の保有整備

【上下分離後】

上物 (市出資法人)

- 運転・運行管理
- 施設・車両の維持管理
- ※施設を自治体から賃借
- ※維持管理を自治体から受託



下物 (熊本市)

- 施設・車両の保有整備

どうして上下分離を導入するの？

市電の安心・安全な運行には、「運転士」や、施設や車両の維持補修を行う「技工職」といった、現場を担う職員の人材確保や育成、技術の継承が不可欠です。職員の雇用環境を安定化(運転士の正規雇用化など)し、**持続安定的に市電を運行していくため、上下分離方式を導入するものです。**

上下分離はいつから導入されるの？

最短で**令和7年4月**を想定しています。

上下分離を導入しないとどうなるの？

現在の交通局では、技能労務職員の退職不補充の方針や経営上の理由等から、運転士や技工職を正規職員として新規採用できていません。このままでは、人材の確保や技術の継承ができず、**将来にわたって持続安定的に市電を運行することが難しくなります。**

交通局とは別の法人に運行を任せると、すぐに運賃を値上げしたり、運行の安全が確保できなくなったりするのでは？

運賃は、上下分離後も国のルールや市との協議を経て改定する必要があるため、**法人が自由に値上げをすることはできません。**

また、現在運行を担っている交通局の運転士等が新たな法人へ移籍するとともに、熊本市からも職員を派遣するなど、当面の間は現行とほぼ同じ体制を維持し、引き続き安全な運行を行っていきます。

熊本市電は令和6年8月に開業100周年を迎えます。

熊本市電が引き続き誰もが気軽に利用できる安全安心な移動手段として、また、熊本市のまちのシンボルとしての役割を果たしていくため、上下分離の導入にご理解をお願いします。

(交通局総務課 ☎096-361-5211)

3月18日(土)バス・電車無料の日を実施します

熊本市を一部でも通過する路線バス・熊本電鉄電車・熊本市電を無料化します。対象は熊本市民に限定しません。無料対象路線であればどなたでも何回でも利用できます。

【参加事業者】

九州産交バス・産交バス・熊本電鉄(バス・電車)・熊本バス・熊本都市バス・熊本市交通局

詳しくは、下記URLまたはQRコードから市ホームページへ。
https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=46679



※ただし、以下の路線は対象外です。

- ・熊本リムジンバス、熊本駅直行便、阿蘇くまもと空港直行便
- ・県内快速バス(あまくさ号、たかもり号)
- ・県外高速・特急バス(ひのくに号、やまびこ号など)
- ・JR九州

(交通企画課 ☎096-328-2510)

